

令和 2 年度第 1 回北区自治協議会  
令和元年度区自治協議会提案事業 事業評価書(案) 書面協議結果

(順不同)

意見者	要旨	回答/見解
工藤委員 菅原委員	「事業の評価」欄で、地域づくり部会において、食生活改善推進協議会の取組みを記載することとしたが、その記述がない。	(事務局) 当該欄の表記を、ご意見を踏まえ別紙のとおり修正しました。
原委員	目的、実績、評価を良くまとめてあるが、感覚的ではっきりした評価ではないような感じがする。 評価基準、段階があればなお良い。	(事務局) 事業評価書は全区統一の書式となっています。 事業は多岐に渡り、同一の基準での評価は難しいため、詳細を記載することとしています。

## ○各事業への意見・感想

・北区みんなで見守り隊フォーラムに参加。会場全体がひとつになっていました。付箋に書くことで意識も高まりました。もっとたくさんの人に参加してもらえるとよいと思いました。

・北区みんなで見守り隊フォーラムは、他の地域のいろいろな見守りの方法を聞くことができ参考になったのではないかと思います。「全てのママパパ応援プロジェクト」は多くの方からは好評で良かった。高齢者にマンガはなじまなかったようです。

・北区みんなで見守り隊フォーラムは大変勉強になりました。できれば毎年継続で実施願いたいと思います。

・地区住民がどれほど理解し、参加または理解実行しようとするには、PR 等もう少し具体的にしたほうがよいと思います。協議会委員のみで終わらないよう対策を考えていくべきと思います。

## 区自治協議会提案事業 事業評価書

## 北区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	北区みんなで見守り隊 【事業費予算 1,000千円】
事業目的・概要	北区では、地域の方々を中心として、登下校中の子どもたちや支援が必要な高齢者等、様々な見守り活動が積極的に行われている。 見守りを行う各団体では、独自のノウハウや実践的なアイデアを持っており、見守りの対象が異なる活動でも互いにヒントになるものがあると思われる。そこで、「見守り」をキーワードに共通項を見出す機会として、フォーラムを開催し、見守り活動を行っている多数の人・団体の情報共有を図る。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	北区みんなで見守り隊フォーラム <b>■日時</b> 11月27日 13:00～15:50 <b>■会場</b> 新潟市北区文化会館ホール <b>■参加</b> 185人 <b>■内容</b> 第1部 基調講演 ①三流亭楽々さん ②中野妙さん 第2部 事例発表 ①葛塚わんわんパトロール隊 ②北区民生委員・児童委員協議会 ③ナミックス株式会社・株式会社竹中工務店 第3部 意見交換 パネルディスカッション(「みんなで支え合う地域づくり」について)  また、当日会場で集まった意見(付箋300枚以上)を分類及びキーワード化し、活動の評価と課題を洗い出し記録集を作成。今後の方向性をスローガン化した。
事業の評価  <small>地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など</small>	<b>■</b> 北区の「見守り」の特長として、地域や企業はじめ多様な団体それぞれが自主的に活動を展開しているところに着目した。一方で、団体間の”ヨコ”のつながりが希薄になっている点が地域課題になっているものと考え、事業に取り組んだ。 <b>■</b> 参加者を限定しないフォーラム形式で事業を開催し、多様な団体等に参加してもらった。幅広い層にアプローチできた点で、事業の公益性が認められる。 <b>■</b> 当日集まった意見(付箋)をもとに、地域づくり部会で振り返りを実施し、当事業の総括と今後の方向性をスローガン化した記録集(ヒント集)を作成した。地域のなかで容易に共有また還元できる成果品となった点で、一定程度の効率性が確保できた。 <b>■</b> さらに、フォーラムでは「地域の食の見守り隊」として、食生活推進委員協議会北支部がバッククッキングのPRと蒸しパン試食会を開催した。「食」から見守りを捉える、新たな視点を提起する機会となった。 <b>■</b> アンケート結果から高い参考度と積極的な意見を得られた。区全体として見守り活動が広がる機運を期待する成果として、実効性が高いものと思われる。  アンケート結果(回収122人・回収率65.9%) <input type="checkbox"/> 参考度(「大変参考になった」、「まあまあ参考になった」を合わせて) 基調講演:96%/事例発表:86%/パネルディスカッション:66% <input type="checkbox"/> 主な感想 (評価)新しいアイデアに触れる機会になった/他地域の取組を知り心強い/自分の団体でもやってみたい/地域に感謝の思いが芽生えた 等 (課題)若い世代の参加が少ない/担い手が足りない現状がある/見守り活動が行われていることを知る機会が少ない/地域の見守りへの関心をどう維持していくか 等
備考	